

図書だより

No. 1

多摩市立 東愛宕中学校
令和3年 4月23日発行
学校図書館司書 宮居 未知

東愛宕中へ来て4年目になります。昨年度は、コロナ禍により図書館でもICT環境や電子書籍など時代の変化を大きく感じた1年でした。今年度も、感染対策をしながら先生方やみなさんと知恵を出し合っ、ワクワク楽しい図書室を目指していきたいと思っています。

図書室の利用について

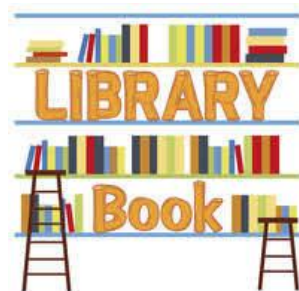
4/12から開館
しています♪

開館日 : 月曜日～金曜日 (臨時休館、開館時間の変更あり)

開館時間 : 10時～16時 (昼休み・放課後・授業で指示された時)

貸出冊数 : ひとり3冊まで (長期休暇前には貸出冊数が増えます)

貸出期間 : 2週間 (返却期限を守りましょう♪)



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 のためのルール

マスクは必ず
着用しよう

入室前後に
手洗い、または
手の消毒をしよう

机には離れて
座ろう

おしゃべりは
つつしみ、
のんびり静かに
過ごそう♪

みんな元気で
いられますように



4月23日は

「子ども読書の日」

毎年4月23日は「子ども読書の日」です。これはスペインのカタルーニャ地方に伝わる守護神サン・ジョルディをたたえる「サン・ジョルディの日」に、親しい人に本やバラを贈る習わしがあり、それにちなんだものなんですよ。



ユネスコでは、この日を「世界図書・著作権デー」(世界本の日)と定め、日本では「子ども読書の日」としたのだそうです。

うらへ

2021年本屋大賞 発表!

「全国書店員が選んだ いちばん! 売りたい本 2021年本屋大賞」の発表がありました。東愛宕中でも毎年人気の本屋大賞コーナー。

今年のラインナップをご紹介します。(本紙掲載の書影は、すべて版元ドットコム画像を使用しています。)



大賞『52 ヘルツのクジラたち』

町田そのこ著 中央公論新社

52 ヘルツのクジラとは、他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く、世界で一頭だけのクジラ。たくさんの仲間がいるはずなのに何も届かない、何も届けられない。そのため、世界で一番孤独だと言われている。自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚(きこ)と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年の2人が出会い、新たな物語が始まる。

注文中!



- 2位 『お探し物は図書室まで』 青山美智子(著)
- ★3位 『犬がいた季節』 伊吹有喜(著)
- ★4位 『逆ソクラテス』 伊坂幸太郎(著)
- 5位 『自転しながら公転する』 山本文緒(著)
- 6位 『八月の銀の雪』 伊予原新(著)
- ★7位 『滅びの前のシャングリラ』 凧良ゆう(著)
- 8位 『オルタネート』 加藤シゲアキ(著)
- 9位 『推し、燃ゆ』 宇佐美りん(著)
- ★10位 『この本を盗む者は』 深緑野分(著)

★は図書室にある本
★以外全て注文中!

5月中旬くらいに図書室に入ってくる予定です。

<翻訳小説部門>

- 1位 『ザリガニの鳴くところ』 ディーリア・オーエンズ(著) 友廣純(訳)
- 2位 『神様の貨物』 ジャン＝クロード・グランバール(著) 河野万里子(訳)
- 3位 『あの本は読まれているか』 ラーラ・プレスコット(著) 吉澤康子(訳)

ただいま
注文中!

現在、新しい本を注文中です。5月中旬には新着図書コーナーに本が並び予定です。どんな本が届くのか、ちょっとだけ紹介します。



詳しい内容やその他の新着図書は次号の図書だよりをお楽しみに♪